全日本バレーボール高等学校選手権大会　愛知県予選会

男子優勝チーム　愛工大名電高等学校



藤巻陸監督

決勝を終えた今の気持ちは？

初采配で不安な面もありましたが、選手達が良く頑張ってくれてホッとしております。

現役から高校の監督になり、悩みや葛藤は？

前監督の北川先生が偉大であるがゆえに、自分のやりたいバレーが正しいのかと不安が結構大きくて、最初の 2、3 ヶ月はなかなかチームの方針を固められない中で、試行錯誤をしながらやっていました。

攻撃に対する指導は？

北川は元々プッシュ、リバウンド、当て出しなど、勝負や打ち切ることに関してすごく引き出しが多い選手です。福島は高さもパワーもある選手なので、全てをハードヒットするだけでなく、場面によっては無理をせずリバウンドを取るように本人にも言いました。あえてリバウンドを取ってから再展開を図っていく練習も日々入れています。

チームの強みと全国大会までに伸ばしたいこと

例年よりも高さがある代なので、サーブで崩した後にブロックから展開して決め切る、ブレイク力がチームの強みです。逆に課題は、両エースの得点力がすごくあるので、そこに頼りきらないようコンビを練習してきましたが、決勝の舞台ではなかなか発揮できませんでした。1 ヶ月間コンビの精度やディフェンス面をもう少し強化をして東京へ臨みたいです。

全国大会に向けての意気込み

春の高校バレー、なかなか経験できるものではありませんので、その舞台で選手たちが伸び伸びとプレーできるように環境を整えていきたいです。

北川祐真主将

決勝を終えた今の気持ちは？

まずは不安だった予選を勝ち抜いたことと、これからまた本戦に向けて仕上げていく楽しみもあります。

多彩な攻撃の切り替え方は？

相手のブロックの位置を見て、このブロックの位置ならどこで時間差が決まるか、ブロードが決まるかなどを考えてやっています。自分の持ち味の 1 つがブロードなので、レフトだけじゃない攻撃をすることも決まっていました。

今のチームの強みは？

3 年生は負けたら終わりという立場なので、全員が相手に立ち向かっていけるということと、全員仲良く、自分たちの持ち味を出せるようなチームです。

全国大会までに改善したいポイントは？

自分たちの課題はレセプションからの攻撃なので、ブレイクの面よりサイドアウトの面をもっと磨いていきたいです。

全国大会に向けての意気込み

目標はまだ明確には決まっていないのですが、少しでも多く上にいくためにこの 1 ヶ月仕上げて、より多くの試合をしたいです。





